

<添付資料>

映画「神楽鈴の鳴るとき」キャスト・制作スタッフ

■キャスト■

濱田ここね（御山鈴）



2004年生まれ、宮崎県出身。3歳の時から地元のCMに出演。2013年公開の映画『おしん』では、半年にわたる全国オーディションで約2,500人の中から主人公の谷村しん役に選ばれる。その演技が評価されて第37回日本アカデミー賞 新人俳優賞、第37回 山路ふみ子映画賞、第25回新人女優賞、第68回毎日映画コンクール スポニチグランプリ新人賞、第27回イラン・イスファハーン青少年国際映画祭 最優秀青少年俳優賞、など映画各賞を受賞した。主な出演映画に『タイガーマスク』『小川町セレナーデ』『カノン』『孤独』。テレビドラマではNTV「お迎えデス。」、NHK「いとこの森の家」、TBS「私を離さないで」「仰げば尊し」、CX「SMOKING GUN～決定的証拠～」、NHK「おそろし～三島屋変調百物語」「経世済民の男・第一部 高橋是清」「ウルトラマンX」。舞台では市川森一原案の『Dramatic Kojiki』『赤毛のアン』等がある。



加藤明子（御山鏡子）

1982年生まれ、奈良県出身。2014年にバラエティ番組「ウーマン・オン・ザ・プラネット」(NTVの「ワケありウーマン5人アメリカ横断旅!」)でタレントとしてデビュー。2015年に「くりいむしちゅーのヒューマンルーレット」「ゴッドタン」「私の何がいけないの?」「いまドキッと!?!」に出演。その後関係者からの薦めで役者への転向に挑戦。同年末に、主演舞台「メイドたちの接吻」で女優としての活動を開始。2016年に『ホモとゴンゴ』『生クリーム奇談』『カナリヤ bar』と立て続けに主演舞台をこなす。2016年夏公開の『トイレの花子さん ～新章・花子 VS ヨースケ～』でスクリーンデビュー。『インフォ・メン 獣の笑み、ゲスの涙。』('17)、『トモダチゲーム劇場版 FINAL』('17)にも出演。2017年にTBSラジオの番組「サキドリ!感激シアター」でパーソナリティに抜擢される。

白石朋也（御山剣）



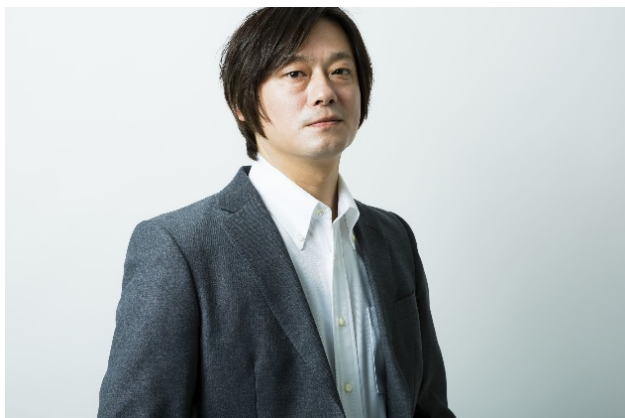
1979 年生まれ。福島県出身。1998 年『女教師』でテレビドラマレギュラーデビュー。2001 年ゆうばり国際ファンタスティック映画祭出品作品、映画『レディブラスティック』で主演を務める。主な出演映画では HiGH&LOW シリーズ『劇場版 S～最後の警官～』『新・大久保物語』『君はノーサイドの笛を聞いたか』『バツゲーム 2』『タナトス』『新・影の軍団』『S-最後の警官』など。ドラマでは NHK 大河ドラマ「天地人」「八重の桜」をはじめ「HiGH&LOW」シリーズ、「恋のから騒ぎドラマスペシャル 荷台に乗せられた女」、「アリスの棘」「さよならアルマ」「新撰組 PEACE MAKER」「鬼嫁日記いい湯だな」「国盗り物語」「花村大介」などに出演。舞台にも積極的に出演し、堤幸彦主宰キバコの会の第二回公演(脚本:福田雄一)『フォトジェニック('10)』から全て参加して高い評価を受けている。また IZAM 主宰の劇団ベニバラ兎団『風間山荘('11)』より参加。『パライソの海』『破格の七人』『ICE CREAM GOOD BYE』にも出演。



大杉漣（御山吾平）

1951 年生まれ、徳島県出身。太田省吾率いる転形劇場で舞台に打ち込んだ後、1978 年高橋伴明監督作品で映画デビュー。『ソナチネ』で注目を受け、『ポストマンブルース』でおおさか映画祭助演男優賞、『犬、走る DOG RACE』『HANA-BI』等でキネマ旬報、ブルーリボン賞、日本アカデミー賞など数々の助演男優賞を受賞。『アウトレージ 最終章』では第 27 回東京スポーツ映画大賞・助演男優賞を受賞。主なる出演映画に『不貞の季節』『棚の隅』『ネコナデ』『一枚のハガキ』『大虎(デホ)』『仮面ライダー1号』『蜜のあわれ』『シン・ゴジラ』等、300 本を超える。テレビドラマでは「ゲゲゲの女房」「警視庁ゼロ係」「花咲舞が黙ってい」「緊急取調室」「バイプレイヤーズ」「大杉漣の漣ぽっ!」「ゴチになります」等のバラエティ、CM、舞台、ナレーション、音楽ライブ等精力的に活動。2018 年 2 月 21 日急逝。

■制作スタッフ■



原案・脚本・プロダクションデザイン・製作総指揮
増山 修

1974年生まれ。長崎県出身。スタジオジブリ作品『千と千尋の神隠し』『ハウルの動く城』『崖の上のポニョ』や『時をかける少女』などにアニメーション美術家として参加。2009年、オリジナル作品制作を目指してスタジオ、インスパイアードを設立。その後『東のエデン』『まどか☆マギカ』『君の名は』などに参加。2017年の「メイドインアビス」では、TV作品にもかかわらず映画のクオリティで異世界を描き話題となった。アニメーション以外に、webCM、ステージ美術、商品デザインなども手がけている。著作に「増山修水彩画集」「インスパイアード背景画集」「学校では教えてくれない風景スケッチの法則」など。NHK番組「あなたもアーティスト」では2シーズンにわたって講師をつとめ、モト冬樹らと共演。情報番組にも多数出演している。

監督
小沼 雄一



1965年生まれ。茨城県出身。法政大学卒業後、日本映画学校に入学し同校の卒業制作映画『チャンス・コール』が今村昌平賞を受賞。卒業後、助監督として現場経験を重ねたのち、2003年監督デビュー。主な作品は『ニューハーフ・ダンク』『AKIBA』『童貞放浪記』『nude』『結び目』『スクールガール・コンプレックス-放送部篇-』など。いずれも海外の映画祭に招待され高い評価を受けた。2015年『空人』は第14回オーランド国際映画祭に正式出品、第5回ゴールデンドア国際映画祭に正式招待された。2016年から続く『咲-Saki-』ではTVドラマおよび映画の監督として人気を支える。最新作は2018年『咲-Saki-阿知賀編 episode of side-A』。



音楽
HEAVENESE

“HEAVENESE(ヘヴニーズ)”は「大和心」に代表される日本精神が世界を救うという信念のもと活動している音楽一座。2012年、シーラ・Eのレーベルより世界デビュー。グラミー賞9回受賞のゴスペル界のキング、アンドレ・クラウチが唯一プロデュースを手がけた『世界でたった一つのエンターテイメント一座』。ツインボーカルのMarre&Kumikoを中心に、ドラム、ベース、キーボード、サクソスなどの洋楽器と、尺八、篠笛、和太鼓、津軽三味線などの和楽器で構成されている。千古不易の日本のソウルと、HIP HOP / R&Bが融合し、GOSPELのスピリットが紡ぎ出されるステージは圧巻。外務省後援で、国内はじめアメリカ・イスラエル・エチオピア・台湾等でもツアーを行っており、民間外交使節団としての評価も高い。

【HEAVENESE 公式サイト】 <http://www.heavenese.jp>

プロデューサー：竹原直子 椎木努 櫻井裕也 照明：渡辺大介 録音：岩間翼 整音：伊藤裕規
音響効果：勝亦さくら 美術・装飾・持道具：金沢勇大 衣装：藤田賢美 メイク：宇都圭史 新井みどり 助監督：後藤ヨシチカ

■主題歌「神楽鈴の鳴るとき」

作詞：増山 修 / 作曲：MARRE / 編曲：長岡成貢 / 歌：加藤明子

神楽鈴を構成する、剣・鏡・鈴の三位一体をテーマに、「和の心」の表現を得意とするクリエイターたちのコラボレーションが実現。脚本の増山修によって書かれた歌詞に、音楽を担当する HEAVENESE のリーダー・MARRE が作曲し、作曲界の第一人者である長岡成貢が編曲した。鏡子役の加藤明子が、その細やかな心情を歌い上げている。





作曲
MARRE

東京都出身。HEAVENESE のリーダーで、リードボーカル、ピアノを担当。1991 年、ポリドール系のレーベルよりメジャーデビュー。1993 年渡米し、プリマリタルカウンセリングや聖書学などを学ぶ。2005 年、グラミー賞 9 回受賞の故アンドレ・クラウチとの出会いにより、HEAVENESE プロジェクトをスタート。2012 年、シーラ・E のレーベルより世界デビュー。作家、カウンセラーとしても活躍しており、著作の「この人と結婚していいの?」「超訳聖書 生きる知恵」などがベストセラー。自身の経営するライブカフェ『KICK BACK CAFE』では定期的に、『日本精神』を発信する音楽とトークのイベント「HEAVENESE BRIDGE」を開催している。2016 年、HEAVENESE のボーカルである妻・kumiko と共に、東久邇宮まごころ文化褒章を受賞。

【MARRE オフィシャルサイト】 <http://www.marre.jp/>
【HEAVENESE 公式サイト】 <http://www.heavenese.jp>

編曲
長岡成貢



1961 年三重県伊勢市生まれ。独学でオーケストラと作曲を学ぶ。EXILE、SMAP、中島美嘉、嵐、KinKi Kids など多数のアーティストへの楽曲提供、編曲、プロデュースを行う。また TBS 日曜劇場『JIN-仁-』、『たたら侍』『桜田門外の変』など、多数の映画、ドラマ、アニメ作品の音楽制作に携わってきた。クリスティーナ・ヤオ監督『EMPIRE OF SILVER/白銀帝国(2010)』では音楽を担当し、米国 SAIFF 国際映画祭の Best score(最優秀作曲賞)を受賞。出身地である伊勢への愛も深く、「日本の文化」発展をライフワークとしている。660 年にわたり、天皇の代わりに伊勢神宮の天照大神に仕えていた皇女「斎王」を偲び称える「斎王の舞～斎宮物語」や、第六十二回式年遷宮に際し「白石献上歌」を作曲、奉納演奏を行った。

【長岡成貢 オフィシャルサイト】 <https://www.himemiko.co/>